

対象国の条件：地熱資源を有する国

研修コース番号：201984851-J002

案件番号：201984851

主分野課題：資源・エネルギー/再生可能エネルギー

副分野課題：

使用言語：英語

案件概要

地熱資源開発は高リスクのために進まない国が多く、資金確保だけでなく人材育成が喫緊の課題となっている。国家による地熱開発の探査や解析の信頼性向上の為には、人材育成が重要な鍵である。本研修は1970年から2001年にかけて九州大学で実施したコースを刷新し再開させるものであり、地質、地化学、物理探査、貯留層工学の各分野を対象としている。3か月の講義の後、研修員が各国の課題に応じて設定するテーマに基づき、3か月の調査実習を行い、成果を対外発表する。また、帰国後の取り組みについてアクションプランの作成も行う。

目標/成果	対象組織/人材
<p>【案件目標】 国家による地熱資源開発を促進する技術者が育成される。</p> <p>【成果】 1. 探査の理論、分析手法を習得する。 2. 日本及び参加各国の地熱開発の状況と課題を理解する。</p>	<p>【対象組織】 地熱資源開発を担う公的機関</p> <p>【対象人材】 1. 実務経験3年以上を有する中堅エンジニア 2. 大卒もしくはそれと同等の学歴を有する者 3. 40歳未満が望ましい 4. 十分な英語長文読解・執筆能力を有する者 5. 長期間に及ぶ滞在に支障のない心身ともに健康な者</p>

内 容											
<p>【事前活動】 1. カントリーレポートの準備 2. 実習テーマ案の検討</p> <p>【本邦研修】 1. 地熱地質学、地化学、地熱物理探査学、貯留層工学の理論・探査・手法等に関する講義 2. 開発全体の経済評価、地熱開発の社会受容、探査コンサルタントへの委託等に関する講義 3. 地熱タービン工場及び日本の地熱開発における現場の視察 4. カントリーレポートの作成・発表 5. 各自テーマに基づく実習（フィールド調査、ラボ分析等） 6. 選択実習の成果発表（ポスター発表） 7. アクションプランの作成・発表</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1077 1187 1220 1299">本邦研修期間</td> <td data-bbox="1220 1187 1543 1299">2019/6～2019/12</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1077 1299 1220 1344">担当課題部</td> <td data-bbox="1220 1299 1543 1344">産業開発・公共政策部</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1077 1344 1220 1713">所管国内機関</td> <td data-bbox="1220 1344 1543 1713">JICA九州</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1077 1713 1220 1747">関係省庁</td> <td data-bbox="1220 1713 1543 1747"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1077 1747 1220 1792">実施年度</td> <td data-bbox="1220 1747 1543 1792">2019～2021</td> </tr> </table>	本邦研修期間	2019/6～2019/12	担当課題部	産業開発・公共政策部	所管国内機関	JICA九州	関係省庁		実施年度	2019～2021
本邦研修期間	2019/6～2019/12										
担当課題部	産業開発・公共政策部										
所管国内機関	JICA九州										
関係省庁											
実施年度	2019～2021										

主要協力機関	調整中
特記事項及びホームページ	優秀な研修員は、修士課程や博士課程への進学を支援する。